

花育情報

☆花や緑に関する情報をお届けします。

<9月のお花> ヒガンバナ



ヒガンバナ科の多年草
原産国・・・中国南部
開花時期・・・9月～10月
花言葉ヒガンバナ(赤)・・・情熱・再会

☆日本原種のヒガンバナ科
「キツネノカミソリ」



9月のお彼岸の時期を待っていたかのように咲くヒガンバナを見ると、神秘的なような、少し怖いような、そんな気持ちになるのは「彼岸花＝お墓」のイメージからでしょうか・・・。
ある説によると、日本の多くが土葬だった頃ヒガンバナの球根には毒性があるため、埋めた遺体がモグラやネズミに荒らされないためにヒガンバナをお墓の周りに植えたそうです。
また別名でよく耳にするのが「曼珠沙華(マヅ ヲツゲ)」。これは仏典に由来し、サンスクリット語で「天界の花」という意味を持ち、仏教では曼珠沙華を見た者は今までの悪行が払われるとされているそうです。いろいろな説を知ると印象が変わりますね。

～ 秋の七草 ～

ハギ・キキョウ・ナデシコ・フジバカマ・ススキ・オミナエシ・クズ

秋の七草の始まりは奈良時代、山上憶良(やまのうえのおくら)が万葉集で詠んだ歌が由来とされています。

「秋の野に咲いている花を、指を折って数えてみれば、七種類の花がある」といった内容です。

春の七草のように粥にして食べることはなく、主に観賞用として秋の風情を楽しむためのものようです。

また、春の七草の始まりは平安時代からとされているので、秋の七草の方が古くから今に伝わっているということですね。

ここで質問です、春の七草を言えますか？

(答えは裏面にあります)



花育体験情報



前号掲載のギャザリングなど 体験できます！

ギャザリング

9/12(木)
13:30~15:30

つきやまみこげ
「築山御苔」

講習費 2,000円

材料費 3,500円

講師 みずの ともこ

定員 5名

9/26(木)

13:30~15:30

「自由にギャザリング」

講習費 2,000円

材料費 実費

講師 石川 じゅんこ

定員 5名

フラワーアレンジメント

9/21(土)

13:30~15:30

「ドライスワッグ」

講習費 3,500円

材料費込

講師 坂上 くみこ

定員 5名

申込・問合せは、いくとぴあ食花きらきらマーケット内 グリーンプラザ フレンズ
電話番号025-383-8718 レッスン会場も同フレンズになります

動物ふれあいフェスタ de 花育体験



会場：食育・花育センター 1F アトリウム

開催時間については食育・花育センターまでお問合せください

9/21(土) ローズマリーのリース作り 500円



9/22(日) まつぼっくりで動物作り 100円



9/23(月・祝) コケのテラリウム 500円

全日、材料がなくなり次第終了になります。

問合せ：食育・花育センター 025-282-4181



～春の七草～

セリ・ナズナ・ゴギョウ

ハコベ・ホトケノザ

スズナ・スズシロ

<発行・問合せ> 新潟市農林水産部 食と花の推進課 食育・花育担当

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 Tel:025-226-1792 Fax:025-230-0423

E-mail: shokuhana@city.niigata.lg.jp

【花育情報 no2 2019年9月発行】